

常陸太田市 議会だより

Hitachiota City Council

No. 174

令和5年11月

常陸太田市議会



第9回常陸太田市フォトコンテスト入賞作品
「4年ぶりの明かり」／撮影場所：旧町屋変電所

主な内容

- 議案賛否一覧 …………… P 2～3
- 議案質疑 …………… P 4
- 一般質問 …………… P 5～7
- 常任委員会審査 …………… P 8～9
- 決算特別委員会 …………… P 10
- 請願・議員提案審査結果・意見書・議会運営委員会… P 11

第4回臨時会・第5回定例会



宮田 達夫 市長

■提案理由説明（要旨）

第4回臨時会（7月19日）は、台風第2号（6月3日）により下高倉町地内で発生しました法面崩落の復旧費用等、自然災害防止対策に関連した補正予算1件を提案するものです。

第5回定例会（9月1日から21日）は、令和4年度の決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告各1件、専決処分報告4件、専決処分の承認1件、関係条例の整備1件、条例の一部改正2件、市有財産の無償譲渡1件、工事請負契約1件、令和4年度歳入歳出決算認定8件、令和5年度補正予算5件、合わせまして25件でございます。

補正予算につきましては、避難行動要支援者に対する非常持出用リュックの購入及び乗合タクシーの利便性向上に向けた事業拡充に係る費用等を計上しております。

また、議会最終日に、人事案件2件及び道の駅ひたちおおたのEV充電設備更新費用を減額する補正予算1件を追加提案する予定でございます。

第4回臨時会・第5回定例会 議案賛否一覽

△全会一致で可決・同意・認定・採択した議案▽

報告第45号	令和5年度常陸太田市一般会計補正予算（第4号）について	議会名	付託委員会	議決結果
第4回臨時会				
報告第17号	令和4年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	議会名	本会議	原案可決
報告第18号	令和4年度決算に基づく資金不足比率の報告について	議会名	本会議	報告
報告第19号	専決処分の報告について（和解について）	議会名	本会議	報告
報告第20号	専決処分の報告について（和解について）	議会名	本会議	報告
第5回定例会				

報告第21号	専決処分の報告について（和解について）	議会名	本会議	報告
報告第22号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	議会名	本会議	報告
報告第23号	専決処分の承認を定めることについて（令和5年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号））	議会名	本会議	原案承認
議案第47号	常陸太田市し尿処理場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議会名	文教民生	原案可決
議案第48号	常陸太田市火災予防条例の一部改正について	議会名	総務	原案可決
議案第49号	市有財産の無償譲渡について	議会名	総務	原案可決
議案第50号	常陸太田市町田運動公園整備工事請負契約について	議会名	総務	原案可決

△賛否の分かれた議案▽

議案番号	議案名	付託	審査結果	宇野 隆子	高木 将	後藤 守	茅根 猛	成井小太郎	高星 勝幸	深谷 秀峰	益子 慎哉	平山 晶邦	深谷 涉	菊池 勝美	小室 信隆	森山 一政	鴨志田 悟	根本 仁	石川 剛	議決結果	
議案第46号	公共施設の料金改定に伴う関係条例の整備について	総務	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	令和4年度常陸太田市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第53号	令和4年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第54号	令和4年度常陸太田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定

【○…賛成 ×…反対 欠…欠席】
 ※議長の表決権…過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができる裁決権が認められています。

議案第52号	令和4年度常陸太田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定
議案第55号	令和4年度常陸太田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	原案可決及び認定
議案第56号	令和4年度常陸太田市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	原案可決及び認定
議案第57号	令和4年度常陸太田市簡易水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	原案可決及び認定
議案第58号	令和4年度常陸太田市下水道事業等会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	原案可決及び認定
議案第59号	令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号)について	総務	原案可決
議案第60号	令和5年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	文教民生	原案可決
議案第61号	令和5年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	文教民生	原案可決

議案第62号	令和5年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	文教民生	原案可決
議案第63号	令和5年度常陸太田市下水道事業等会計補正予算(第1号)について	産業建設	原案可決
議案第64号	令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第7号)について	本会議	原案可決
議案第65号	常陸太田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	本会議	原案同意
議案第66号	人権擁護委員候補者の推薦につき同意を求めることについて	本会議	原案同意
請願第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	文教民生	採択
議員提案第2号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について	本会議	原案可決
議員派遣について		本会議	原案可決

議 案 質 疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけでは分からないことを質問する行為のことです。

議案第46号 公共施設の料金改定に伴う関係条例の整備について

(市内における公共施設について、類似施設の料金体系の均衡を図る等の見直しをするため、関係条例の整備を行うもの)

問1 西山研修所の利用料金及び今後の運営について伺いたい。

答1 本施設は茨城県から譲渡され、市内・市外の区別がされていない利用料金を踏襲している。今回、市内の他施設と同様に、教育施設であることに考慮した市外利用者の料金を設定するとともに、2つに分かれていた児童生徒の料金を一体化するものである。現在の指定管理期間は令和7年度までであり、期間中は必要な修繕を行いながら適切な管理運営に努める。

議案第50号 常陸太田市町田運動公園整備工事請負契約について

(オカベ・根本特定建設工事共同企業体と3億690万円で契約するもの)

問1 工事内容で、運動広場を天然芝、フットサルコート的人工芝とした理由について伺いたい。

答1 運動広場は、芝への負担が少ないグラウンドゴルフが主な利用と想定しており、暑熱対策として照り返しが少なく、腰や膝への負担が軽減される天然芝を選定している。一方、フットサルコートは、ナイター設備を設置し、仕事帰りの大人の利用も想定しているため、傷みに強くメンテナンスしやすい人工芝で整備するものである。

議案第59号 令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号)について

(一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億3,009万2千円を追加し、総額を270億5,579万5千円とするもの)

問1 公立保育所施設整備に関し、検討委員会で検討する主な内容について伺いたい。

答1 将来的な保育需要の推移を考慮した2園体制の在り方や建て替え等について検討するものである。



議会について教えて

シリーズ⑤

付託案件以外の質疑とは？

第5回定例会では、総務委員会及び文教民生委員会において「付託案件以外の質疑」が行われました。そこで、今回は「付託案件以外の質疑」について解説します。

総務委員会などの常任委員会では、本会議で付託された案件のみならず、所管している事務について質疑を行うことができます。これが、「付託案件以外の質疑」です。「付託案件以外の質疑」を行う議員は、当該委員会開催日の2日前までに、あらかじめ発言通告書を議長あて提出します。「付託案件以外の質疑」は委員会における全ての案件終了後に実施するものとされており、時間は質疑と答弁を併せて10分間まで、1問について3回まで質疑を行うことができます。

なお、「付託案件以外の質疑」については、常任委員会の更なる活性化と充実強化のため、平成30年度に導入されました。「付託案件以外の質疑」を行い、疑問点を明らかにすることは、委員会の専門性の向上や、審議の充実化に役立てられています。



石川 剛
議員

問2 問1

地方公会計を活用した行政経営を
「個人版」「企業版」ふるさと納税のさらなる充実を

問1

本市が所有する全ての資産と負債の状況や行政サービスに要したコストが把握できる財務書類は「作ること」が定着し、今後は「使うこと」へと関心が広がっている。本市における公会計の活用状況について伺いたい。

答1

総務部長 本市において
は総務省が「地方公会計整備アドバイザー」として県内で

問2

本市における「個人版」「企業版」ふるさと納税のそれぞれの実績について伺いたい。

答2

政策推進室理事 ふるさと納税の実績は、昨年度1643件、4273万7千円となり、令和3年度と比較し、2002万5千円増加した。今年度は新たに市内ゴルフ場等で当日のプレー代等に充当できる「現地決済型ふるさと納税」を7月中旬

より開始し、8月末現在の実績は18件83万円である。ふるさと納税の今年度の状況は8月31日現在で970件、2067万6千円となり、昨年度同時期と比べ、741件、1627万円増加している。企業版ふるさと納税の実績は、昨年度1件、今年度もこれまで1件の寄附があり、寄附額の合計は130万円となっている。なお、この企業版ふるさと納税の状況は、市ホームページにて公表している。



根本 仁
議員

問1

「逃げ遅れゼロ」を完全に実現するため、
明確な避難指示と安全の意識高揚を

問-1

6月2日の避難指示は、何の災害に関する避難指示であったのか、また、なぜ、警戒レベル3高齢者等避難を発令せず、警戒レベル4避難指示を発令したのか、避難指示を発令した経緯や理由について伺いたい。

答-1

総務部長 今回の避難指示は、水戸地方気象台の警戒レベル4土砂災害警戒情報を受けた土砂災害に関する避難指示

4避難指示を発令した。

問-2

今回の避難指示に関する課題と改善点を伺いたい。

答-2

総務部長 課題は、避難行動要支援者を含め、避難をする方が少なかったことである。理由は、市指定の避難所が自宅から遠いことや、避難行動要支援者自身がハザード内に居住していることを認識していないことが

考えられる。改善策として、開設する避難所の場所の検討や、自主防災会等による身近な自主避難所の開設促進に向け、広報紙で周知を行った。さらに、避難行動要支援者名簿に洪水災害・土砂災害ハザード内外を追記し、ハザード内の方の避難を優先的に支援できるようにした。災害からの「逃げ遅れゼロ」を目標に、評価と検証を繰り返し改善を行い、安全安心なまちづくりを進めていく。

【根本 仁 議員 質問事項】

●避難指示について



【石川 剛 議員 質問事項】

●効果的な公会計の活用について
●官民連携による地方創生の取り組みについて





平山 晶邦
議員

問1

市が出資している第三セクター、株式会社水府振興公社、一般財団法人里美ふるさと振興公社、常陸太田産業振興株式会社等の昨年度の経営状況を見るに3団体ともその経営状況は厳しさを増しているように思う。市が出資している団体であるから市民に対して透明性と経営に対する説明責任が求められる。昨年度の経営状況報告書の内容と今後の組織の在り方のご所見を伺いたい。

問1

市が出資している第三セクターの今後は

答1

総務部長 令和4年度の決算状況は、水府振興公社は収入1億5566万6千円に對して費用は1億6372万6千円、里美ふるさと振興公社は収入2億2796万3千円に對して費用は2億2450万5千円、常陸太田産業振興株式会社は収入8259万7千円に對して費用は8100万2千円に對して159万5千円の赤字となっている。令和4年度の決算の結果、水府振興公社は債務超過の状態になったことから、副市長を委員長とする経営健全化検討委員会を本年7月に立ち上げ経営健全化に向けて取り組んでいるところである。3団体に對して経営管理や経営諸表の分析ができていなかった可能性もあることから、今後、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」による

第三セクター等の経営改革に関するアドバイザーを活用し、経営分析や経営改善策を検討していくこととしている。今後の組織の在り方については、外部の専門アドバイザーを活用しながら現状分析や将来的な経営について適切な指導等を行うとともに、持続可能な運営ができる体制づくりを早急に検討を行うべく努めていく。



益子 慎哉
議員

問1

竜神エリアは、本市の茨城デスティネーションキャンペーンなど、観光施設の誘致促進の拠点となっている。多くの人が集まる場合は、観光というビジネスチャンスの場としても関心が高い。竜神大吊橋広場における物販施設の賃貸借契約と今後の対応について伺いたい。

問1

竜神大吊橋広場のさらなる活用を

答1

商工観光部長 竜神大吊橋広場における物販施設

については、水府振興公社が特定の事業者と平成26年度に賃貸借契約を締結し、以降、毎年度、同様の契約を取り交わしているものである。経緯としては、指定管理者である水府振興公社が自主事業として実施していた水府物産市について、高齢化等の理由により出店者数が減少する中、当該事業者から空きスペースに通年出店することで、竜神大吊橋の観光を盛り上げていきたい旨の申し出があり、

賃貸借契約を結んだものである。他の事業者から施設借用の申し出があれば、同様に対応する。また、市の建築物を指定管理者が自主事業として賃貸借することに対しては、水府竜神観光施設の設置及び管理に関する条例第3条第2項の指定管理業務の範囲として、第4号にその他竜神観光施設の管理上必要な業務との規定があり、顧問弁護士から条例上、問題ないとの見解を得ている。今後は、出店希

望者には引き続き随時対応を図るとともに、出店希望者の募集方法や出店スペースの追加整備などについて、水府振興公社と協議・調整する。なお、竜神大吊橋は市の観光拠点であり、若者や県外の観光客などのニーズを踏まえ、観光施設としてのブラッシュアップやお土産品についてもさらに取り組んでいく。

【益子 慎哉 議員 質問事項】

●観光施設の公平な運営について



【平山 晶邦 議員 質問事項】

●市が出資している第三セクター 株式会社水府振興公社・一般財団法人里美ふるさと振興公社・常陸太田産業振興株式会社について
●利用者ニーズに対応した公共施設の維持・運営について





深谷 渉
議員

問1

今回騒がせているマイナンバーのほとんどは、マイナンバーやマイナンバーカード自体のトラブルではなく、それらを健康保険証などの既存のシステムに紐づけする際に起る人的ミスによるトラブルである。したがって、マイナンバーカードのシステムには問題はないと理解できる。マイナンバーカードを利用することでのメリットや、マイナンバーカードを落としても他人が使用

問1

マイナンバーカードに対する不安の払拭を図るべき

うことができないことなど、市民からみた安全性などを分かりやすく説明する必要があると考える。ご所見を伺いたい。

められた事務の範囲内で、個人情報報の照会・提供、いわゆる紐づけを行っている。

メリットは、顔写真付きの本人確認書類として使える、健康保険証として使用できる、コンビニで各種証明書の取得が可能、転出する際に手続きがワンストップで行える、確定申告や子育てなどの行政手続きがオンラインでできるなどである。安全性では、マイナンバーカードの紛失・盗難時は、24

時間365日体制のコールセンターで一時利用停止の手続きがとれる。また、マイナンバーカードに搭載されているICチップには、必要最小限の情報の記録だけで、税や年金関係などのプライバシーの高い情報は記録されていないなど、万全なセキュリティ対策が講じられている。

市民生活部長 マイナンバー制度は、特定個人情報報を1カ所に集めて管理せず、「分散管理」といって、国の行政機関や地方公共団体などの各機関が管理している情報について、他の機関が必要となった場合、法律で定

答1

者はコロナ禍や物価高騰によって生活は厳しくなっている。第9期の介護保険料は、積立てている基金7億3000万円を活用して引下げを求めたい。引下げについての見解を伺いたい。

今後、制度の正確な理解促進を図るため、広報紙やホームページ等で周知PRに努めていく。



宇野 隆子
議員

問1

老朽化し危険な東海第二原発の存在に、多くの市民が不安を抱き、再稼働ストップを願っている。市民の声を市長はどのように受け止めておられるのか。過酷事故の際、本市は全市民の避難が必要となること、市長のめざす「安全安心な暮らしを守るまち」、「生涯を通じていきいきと暮らせるまち」、「子育て世代に選ばれるまちづくり」とどう両立させるのか伺いたい。市長は選挙

問2

今さら、老朽原発は動かさないうでほしい
介護保険料は基金の活用で引下げを

で選ばれた政治家として、原発再稼働に賛成なのか、反対なのかの政治姿勢をすみやかに示し、安心な市民生活を保障すべきだと思いが、見解を伺いたい。

2000年にスタートした介護保険制度は、それまで家族の介護負担などが社会問題になり、「公的責任による介護の社会化」として期待されるなか始まった。ところが3年ごとの策定のたびに保険料が引上げられ、国はサービス等を減らす改悪が行われてきた。高齢

答1

市長 「安全安心なまちづくり」において、原子力災害の住民避難等を含め、市民の生命・財産を守ることを第一に考えている。再稼働は原電側の事前説明、6市村の協議会等のプロセ

問2

保健福祉部長 介護保険料は令和6年度開始の「第9期介護保険事業計画」に基づき、外部委員で構成する策定委員会

答2

今後審議・検討を行っていく。

【宇野 隆子 議員 質問事項】
●東海第二原発の再稼働問題について
●自衛隊への名簿提供について
●介護保険制度について
●熱中症対策について



【深谷 渉 議員 質問事項】
●マイナンバー制度について



総務委員会

総務委員会では、条例の整備1件、条例の一部改正1件、市有財産の無償譲渡1件、工事請負契約1件、補正予算1件、合計5件の審査を行い、付託された5議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第49号 市有財産の無償譲渡について
 (光ファイバーケーブル設備を東日本電信電話株式会社は無償譲渡するもの)

問 光ファイバーケーブルの維持管理費や敷設後の経過年数、市民の加入件数について伺いたい。

答 維持管理費は修繕料を含めて、年間約2600万円である。敷設後13年が経過しており、現在4330世帯が加入している。

議案第50号 常陸太田市町田運動公園整備工事請負契約について
 (オカベ・根本特定建設工事共同企業体と3億690万円で契約するもの)

問 休憩場エリアの整備内容や、公園の完成予定時期について伺いたい。

答 休憩場エリアは約1000㎡程度を想定しており、男女別トイレや、多目的トイレなどを整備する予定である。公園の完成予定時期は令和6年度中を目指している。

議案第59号 令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号)について

(一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億3009万2千円を追加し、総額を270億5579万5千円とするもの)

問 今後の交通体系の方向性について伺いたい。

答 乗合タクシーなどのドア・ツー・ドアサービスは、高齢者等の移動手段として需要が高まっている。今後の運用実績等も踏まえながら、里美地区への導入等、拡充の方向で検討を図っていききたい。また、登下校等において利用するバスについても確保していききたいと考える。

▼付託案件以外の質疑

男性用個室トイレについて

問 前立腺がんの患者等は、手術後、尿漏れパッドを使用する方が多い。使用済みのパッドを捨てられるよう、庁舎における男性用個室トイレのサニタリーボックス設置について伺いたい。

答 市民の利便性の観点からも、既に設置をしている他市町村の状況等を調査しながら、設置に向けた検討を進めたいと考える。

消防団員の健康管理について

問 猛暑から消防団員の健康を守る服装の着用要領作成について伺いたい。

答 消防団員の健康管理は大変重要なものと捉えており、昨今の猛暑期における暑さ対策についての検討が急務なものと捉えている。各種訓練などに個人で所有している空調服などの装備品を活用することは、消防団員の健康管理に繋がるほか、消防活動の充実・強化を図る上でも大変有意義なものと考えられることから、今後、これら装備品の着用に関して、市消防団と調整、整理していきたいと考える。

【委員会構成】

委員長 菊池 勝美 委員 平山 晶邦
 副委員長 茅根 猛 〃 深谷 渉
 委員 後藤 守 〃 鴨志田 悟

秋田市へ寄附いたしました

本年7月14日からの記録的な大雨により甚大な被害に見舞われた秋田市の復旧・復興にお役立ていただくため、常陸太田市議会議員全員の総意により、令和5年9月20日に支援金として17万円を秋田市へ寄附いたしました。

行政視察に
お越しいただきました

- 8月2日(水)
- 茨城県那珂市議会
- 主な視察項目
子育て支援について



文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件、補正予算3件、請願1件の審査を行い、付託された4議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、請願1件を全会一致で採択すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第47号 常陸太田市し尿処理場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 (常陸太田市里美クリーンセンターを廃止するため、本条例の一部改正を行うもの)

答 市の公共施設等総合管理計画及び公共施設等再配置計画に基づき、類似機能同士の集約化を図るため、里美クリーンセンターを廃止し、太田クリーンセンターに集約することであるが、現在、両施設で受け入れを行っている大子町のし尿について、終了見込がいつになるのかわからない。

問 大子町のし尿の受入れについては、令和5年12月末までの予定である。

議案第60号 令和5年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正

予算(第1号)について

(国民健康保険特別会計予算の総額に歳入歳出それぞれ8888万4千円を追加し、総額を54億7967万5千円とするもの)

問 出産育児一時金臨時補助金について、出産育児一時金引上げの支援措置として、国から1件あたり5千円が交付されることにより追加するものであるが、今回の補正額の9万5千円の算出根拠について伺いたい。

答 令和4年度出産育児一時金支給件数19件から算出した金額である。

請願第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

(地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするため、少人数学級と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるもの)

意見 教職員を取り巻く厳しい勤務状況を踏まえつつ、教育環境の改善と教育予算の確保・充実については願意妥当と認め、採択とすべきものである。

付託案件以外の質疑

中学生部活動の地域移行について

問 本年4月から地域野球クラブとして試行されているが、試行状況と課題について伺いたい。

答 本年4月より、各学校から希望を募り、1年生から3年生、計40名で地域野球クラブの活動を試行として開始した。指導員については、地域指導員4名と各学校の野球部顧問教諭5名、計9名を行政主導型により派遣し、毎週土曜日を基本に活動している。

一方で、指導員確保と費用負担が課題である。指導員の確保については、他の部活動の地域移行を進めるにあたり、それぞれの部活ごとに指導員の確保が必要となるため、適正な指導員の確保に向けて、市内関係団体との情報共有や県人材バンクの活用を進めていく。また、費用負担については、令和7年度までの移行期間において、指導員報酬に国等の補助金を活用することにより、保護者負担は保険料として年額800円としている。移行後は、保護者に過度な負担とならないよう、国・県の動向を注視しながら検討を進めていく。

【委員会構成】

委員長 小室 信隆 委員 高木 将
副委員長 益子 慎哉 〃 藤田 謙二
委員 宇野 隆子 〃 根本 仁

産業建設委員会

産業建設委員会では、補正予算1件の審査を行い、全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第63号 令和5年度常陸太田市下水道事業等会計補正予算(第1号)について

(下水道事業等会計の収益的支出に1830万9千円追加、資本的支出に7779万2千円追加するもの)

問 四季の丘はたそめ区域における公共下水道の抜本的対策工事の施工手順について伺いたい。

答 今年度は、国道349号バイパス東側の農道から、バイパスを横断し、金井近隣公園内、雨水幹線の下をくぐり、法定外道路までつなぐ下流区間において、口径150mmの圧送管を敷設する工事を予定している。

【委員会構成】

委員長 森山 一政 委員 深谷 秀峰
副委員長 高星 勝幸 〃 石川 剛
委員 成井小太郎

決算特別委員会を開催

— 令和4年度一般会計・特別会計3件・
企業会計4件を審査 —

決算に関する議案第51号から議案第58号までを審査するため、決算特別委員会が9月7日に設置されました。議長と議会選出監査委員を除く15名の議員が委員に選任され、9月14日と15日の2日間にわたり、令和4年度の各会計決算について、一般会計については、歳入272億9,060万3,165円、歳出259億3,805万7,851円、歳入歳出差引額13億5,254万5,314円について審査いたしました。

一般会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については賛成多数により原案認定すべきものと決定、国民健康保険特別会計、水道事業会計、工業用水道事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業等会計は全会一致により原案可決及び認定すべきものと決定しました。



委員長 森山 一政
副委員長 高星 勝幸

— 主な質疑内容 —

問 子どもの学習・生活支援事業を民間委託したことによる成果について伺いたい。

答 民間委託したことによって、子どもの居場所の確保・生活指導・学習指導・学習相談・進路指導・進路相談等が手厚く行われていることから、生徒の学習意欲の向上が図られている。

問 ゴミ回収促進事業の高齢者ゴミ出し支援について、地域の実情に応じた支援の成果について伺いたい。

答 高齢者生活の質の向上及び見守りによる孤独死の防止につなげるため、地域と連携をしてゴミ出し支援の取り組みを実施している。高齢者や体の不自由な方が安全で安心して住みやすい日常にするため、今後も地域とのつながりを醸成し、各地域における実情の把握に努める。

問 災害用ドローン職員操縦士の今後の育成方針及びドローン導入について伺いたい。

答 令和3年から令和10年の8カ年の中で、職員28名を災害用ドローン操縦士として育成していく計画である。今後、災害用ドローンを早急に導入し、災害等の実践に役立てていく予定である。

問 スポーツ施設における防犯カメラの設置状況及び効果について伺いたい。

答 利用者等の安全安心の確保や犯罪を抑止するために絶大な効果があることから、山吹運動公園・白羽スポーツ広場・大里ふれあい広場・水府海洋センター・里美運動公園・温水プールの計6カ所のスポーツ施設に防犯カメラを設置している状況である。

議 会 日 誌

7月4日	議会報告・意見交換会（金砂郷地区）	9月1日	本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会
5日	議会報告・意見交換会（水府地区）	5日	本会議（一般質問）
6日	議会運営委員会所管事務調査（6日～7日）	7日	本会議（議案質疑）・決算特別委員会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
12日	議会運営委員会	8日	総務委員会
13日	太田一高対話集会	11日	文教民生委員会
15日	広報委員会	12日	産業建設委員会・産業建設委員会所管事務調査
19日	第4回市議会臨時会・全員協議会・総務委員会協議会・文教民生委員会・産業建設委員会合同協議会・産業建設委員会協議会・文教民生委員会所管事務調査	14日	決算特別委員会・産業建設委員会協議会
20日	茨城県市議会議長会視察研修会（20日～21日）	15日	決算特別委員会・議会運営委員会・全員協議会
8月2日	茨城県那珂市議会行政視察	21日	本会議（採決・閉会）
8日	議会改革推進会議所管事務調査	25日	太田一高対話集会
21日	議会運営委員会・全員協議会・森林・林業・林産業活性化促進議員連盟総会・産業建設委員会協議会	27日	県北市議会議長会定例会

令和5年第5回定例会 請願・議員提案審査結果

請 願

件 名	提 出 者	結 果
【請願第3号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 執行委員長 中山 幸男 外 203 名 【紹介議員】 鴨志田 悟	採 択

議員提案

件 名	提 出 者	結 果
【議員提案第2号】 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について	提出者 小室 信隆 賛成者 益子 慎哉、宇野 隆子、 高木 将、藤田 謙二、 根本 仁	原案可決

意見書を提出しました

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

学校現場では、子どもの貧困・いじめ・不登校、教職員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021年3月、義務標準法の改正により、小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられました。小学校だけに留まることなく、今後は中学校での35人学級の早期実施が不可欠です。加えて、きめ細かい教育をするためには、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

義務教育費国庫負担制度については、2006年度に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的配置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちのゆたかな学びを保障するためにも、国庫負担制度の堅持は不可欠です。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

議 会 運 営 委 員 会

7月12日に、第5回定例会の会期等について審議を行った。8月21日には、第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について、9月1日には一般質問通告者について、9月15日には、最終日の日程、追加議案について、審議を行った。



委員長	茅根 猛	副委員長	高木 将
委員	高星 勝幸	委員	菊池 勝美
〃	小室 信隆	〃	森山 一政

議会を傍聴しませんか

12月定例会会期日程（予定）

12月	1日（金）	午前10時	開会・議案説明
	5日（火）	午前10時	一般質問
	6日（水）	午前10時	一般質問
	7日（木）	午前10時	議案質疑
	8日（金）	午前10時	総務委員会
	11日（月）	午前10時	文教民生委員会
	12日（火）	午前10時	産業建設委員会
	15日（金）	午前10時	委員長報告・採決・閉会

本会議を傍聴される方は、市役所4階議場前の傍聴受付で所定の用紙に住居、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください（委員会の傍聴は許可制です。）。また、常陸太田市議会では、本会議映像をインターネットで配信しています。

常陸太田市議会

検索



太田一高で対話集会を実施しました



9月25日、太田第一高等学校において、「住みやすく、若者が集まる街づくり」をテーマに議員と生徒の対話集会を実施しました。今回は、同校附属中の生徒会役員も加わり、市政に対する様々な意見やアイデアを提案していただきました。



松浦巧太さん

初めての経験で、市議会の皆さんと貴重な時間を過ごさせていただき、これからの常陸太田市、そして太田一高にもつながる重要な集会だったと思います。

安 良太さん

常陸太田市の発展について、また少子化や高齢化など現状の改善策など、若い私たちの視点から発言でき、とても有意義な集会でした。

編集後記

10月から「体験王国いばらき」をキャッチコピーに茨城デスティネーションキャンペーンが始まりました。期間は12月までの3カ月間です。

新型コロナウイルス感染症の第5類以降後のキャンペーンだけに、新たな人との交流・体験や、この機会に新しい茨城の魅力、常陸太田の魅力の再発見を期待しています。

広報委員会では、市内の高校に出向いて2回目の「対話集会」を開催し、1回目の内容を含め「まちづくりの要望書」を提出していただきました。若者の意見を反映できるよう精査してまいります。

議会だより174号では、第5回定例会における主な審議内容等を掲載いたしました。本定例会は昨年度の決算審議内容も含んでいます。

これからも、広報委員一同、読みやすい「議会だより」の編集を心がけてまいりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

委員長	深谷 渉
副委員長	菊池 勝美
委員	茅根 隆
〃	小室 信隆
〃	森山 政
〃	根本 仁
〃	石川 剛